



第71号 町長のしごとと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～
【人を思いやる心を大切に・・・】

八月に入り暑い日が続いておりませんが、朝晩の風はひんやりした風に変わり、早いもので日一日と着実に季節は秋に向かっております。

七月二日（金）に白符地区の山林でクマに襲われたと思われる遺体が発見され、町民一人の尊い命が犠牲となっております。

改めて、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、二度とこのような事故が繰り返されることのないように、鳥獣対策の強化に努めてまいります。

町では、当事故の発生以来、周辺の墓地に注意喚起の看板や電気柵を設置するなどの対策を講じるとともに、防災無線を通じて定期的にクマへの注意喚起の呼びかけを行っております。また、猟友会の方々にご協力をいただき、ハンターによるパトロールを強化する

とともに、警察、消防署及び町職員が連携し、こまめに町内巡回を行っております。

特に、ハンターの道下さん、佐藤さんには早朝から日が暮れるまでほとんど休みなく一カ月にわたって、パトロールに献身的なご協力をいただき、感謝申し上げます。

町では、渡島総合振興局や道立総合研究機構などの専門家の意見をいただき、パトロールと併せ、箱わなを設置するなど、クマの捕獲に向けた対策を講じております。

しかし、このような状況には難しさも伴い、特定の個人や団体の方々から電話やメールを通じて町へ様々なご意見が寄せられ、一部行政事務に支障をきたすことがしばしばあります。

人はそれぞれの価値観に基づき、意見を述べることは自由ですが、自分の意見を人に押しつける

ことや強要するようなことはあってはならないこととすし、断じて許されるものではないと思います。

論語の言葉に、「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ。」とあります。

自分が人からされたくないと思っていることを人にやってはいけない、他人の身になって思い、語り、行動する。

人の心を自分の心と同じに、思いやることが大切だと孔子は教えております。

昨年から新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの日常も変化を余儀なくされておりますが、このような時だからこそ、他人を思いやる心を忘れずに、日々の生活の中で、他人を思いやる心をもって暮らしたいものです。

八月十三日（金）に、成人式が福祉センターで開催され、新成人の皆様にお祝いを述べさせていただきます。

当日は、新成人となられた方々二十五名が参加しております。

成人を迎えられた皆様、それぞれの夢と希望に向かって大きく羽ばたくことをご期待申し上げます。

また、八月十七日（火）の夜には、観光協会による花火の打ち上げがあり、夏の夜空に彩られた鮮やかな花火を、それぞれが家族や友達と一緒に、思い思いに楽しんでいただきました。

この花火には、これまでの感染予防に対する町民の皆様方への感謝の思い、自粛で疲れた心を癒す思い、そして、これからも町民一丸となって、新型コロナウイルスに負けないぞとの強い思いがこめられております。

町では引き続き、感染予防対策に万全を期してまいりますので、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。